

令和2年第2回  
周防大島町総合教育会議 議事録（要点筆記）

1 日 時

令和2年8月27日（木） 12時59分～13時29分

2 場 所

周防大島町役場大島庁舎2階 庁議室

3 出席者

椎木町長、西川教育長、長尾委員、中村委員、沖広委員、國行委員

4 事務局出席者

永田教育次長、木谷総務課長、青山学校教育課長、辻田社会教育課長、  
中原総務班長

5 欠席者

な し

6 傍聴者

な し

7 協議事項

- (1) 議事録署名委員の指名について
- (2) 第2期周防大島町教育大綱の策定について
- (3) 周防大島中学校の校章について

8 議事の概要

◆協議事項

- (1) 議事録署名委員の指名について  
(議 長) 議事録署名委員として、長尾委員、國行委員を指名。

- (2) 第2期周防大島町教育大綱の策定について  
説明者：総務課長、学校教育課長、社会教育課長  
第1期大綱を基に見直しを図った内容について説明。

質疑・要望等

- (教育長) 中学校の統合は令和3年4月がスタートするが、どういうふうに中身を充実するか。通学距離、通学時間が延びるわけだが、それ以上に中身のあるものにし

ていけないといけないと思う。例えば、今までは国語、数学、英語の先生は一人だったのが二人になる。時間的な制約もあるが、少し部活の選択肢も増えると思う。また、クラス替えもあり、今からは中身の勝負で、統合してよかったという方向に持っていく努力があると思う。特にスタートの3年間は大事だと思う。

特別支援教育は現在、小学校10校中9校、中学校4校中4校に特別支援学級があり、それぞれ在籍している子供は、小学校19名、中学校13名の32名。全ての小中学生618名中32名で、約5%となる。特別支援学級に入っていないなくても、通級など配慮のある子供もいないわけではないので、特別支援学級の子供が学びやすい、過ごしやすい、いわゆるユニバーサルデザインのある学校は他の子供にとっても生活しやすいので、今回は特別支援教育にユニバーサルデザインの考え方を生かして、個に応じた指導の充実を図ることが入っていると考えている。

(議長) 既に教育委員会会議等でいろいろ議論いただいていると思うが、協議事項2の「第2期周防大島町教育大綱の策定について」原案のとおり策定することにご異議はございませんか。

(委員) 異議なし。

(議長) 令和3年度から令和7年度までの5年間を対象期間とする第2期周防大島町教育大綱を策定することに決定しました。

なお、大綱を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なくこれを公表しなければならないとなっておりますので、事務局においては、議員や小中学校への配布、また町ホームページでの公表について、よろしくをお願いします。

### (3) 周防大島中学校の校章について

説明者：総務課長

校章デザインについては広く公募をした結果、81点の応募があった。中学校統合準備委員会の総務部会で選考方法を協議し、第1次選考及び第2次選考については町出身のグラフィックデザイナーの新村則人氏と美術科講師の藤本敦子氏の2名に参画いただき投票形式で6点まで絞り込みを行った。最終選考については、新村氏に6点の候補作品の補正をお願いし、プレゼンテーション形式での選考を行った。その結果、久賀中学校2年生の藤本沙弓さんの作品が満場一致で選考された。

なお、全体会である中学校統合準備委員会については、新型コロナウイルス感染防止のため文書送付により各部会の協議決定事項を報告し、委員各位から書面決議の形式で校章デザインなどについて承認を得ている。

デザイン作成の意図については、統合する中学校を花に例え、花びらが合わさり、融合していくという思いを抱いたとのことで、周りの円はみかんをイメージしたとのこと。また、原作の補正があることは応募の条件としており、補正後のデザインを原作者の藤本さんへ確認していただき了解を得ている旨説明。

(議長) 協議事項3の「周防大島中学校の校章について」は原案のとおりとすることにご異議はございませんか。

(委員) 異議なし。

(議長) 周防大島中学校の校章については原案のとおりとすることに決定しました。

(議長) 以上で、令和2年第2回周防大島町総合教育会議を閉会します。